

# 医療現場からの声を形にした、機能回復スペシャリスト養成講座

GET WELL SUPPORTERS JAPAN は、地域医療機関と連携し、健康回復支援を行うことを目的に設立された機関です。

## 設立趣旨

## POLICY

現在の我が国は少子高齢化社会となり、医療保険制度の見直しや改革が進められています。医療の発展により、平均寿命は他国と比べても、常に上位にランクしていますが、長寿だけではなく、QOL（人が充実感や満足感を持って日常生活を送ることができること）の質が問われています。病気になった場合、保険適用で治療が受けられる事がほとんどですが、リハビリが長期に渡っているにも関わらず、完治をしていなくても保険適用の対象期間外になり保障を打ち切られるケースが多く見受けられます。これからの現状の中で、私たちは病後のリハビリ（回復）をサポートするとともに、病気になる以前の予防医学の観点からも医療機関と地域インストラクターの連携システムを作る必要性を提唱し、健康回復支援を目指して活動を行ってまいります。



私の適度な運動って何？

病院の先生から「毎日適度な運動をしてください」と言われたのですが、何をしたいのか・・・。

本当に必要な講義や実習を

ゲットウェルサポーターズジャパン機能回復スペシャリスト養成講座を開講します。

## 患者の問題

## PATIENT

病院の問題とともに、医療制度改革のおおりの影響を受けているのが患者さんです。誰もが経験している事と言えば、病院の先生に「適度な運動は必ず行ってください。」と言われる。しかし、具体的なメニューを提供される事は少なく、運動経験者の場合であれば、想像もつくでしょうが、まったくの運動未経験の患者さんは、どのように運動を行えば良いかわからないはず。それでも保険適用期間外のリハビリを受けられるものの、保険適用期間を過ぎれば、専門知識のある指導員からリハビリ指導を受けることが出来なくなり、途方に暮れているのが現状です。GWS Jでは、専門の知識を持った運動療法指導者が、保険適用期間外のリハビリを担当するとともに、薬の処方箋のように、運動の処方箋の必要性を提唱していきます。

## 養成コースについて

## TRAINING COURSE

養成講座は、2010年4月から随時開講します。この機能回復運動プログラム指導者資格取得講座は少数精鋭の受講者で開講します（一回あたり十数名）そのため、ご希望の期間で受講を希望される場合は、お早めにお申し込みください。期間は4カ月で、週一回の開講となります。講師陣には、現役の医師、大学教授、指導経験20年以上のインストラクターなどが決定しております。「すべて現役である」事が、「必要とされている資格である」という証なのです。詳しくは、最終面をご覧ください。

病院だって困ってます

循環器病患者さんや、生活習慣病患者さんは一般的なスポーツクラブの運動では、負荷が強すぎます。



## ココが違うGWS Jの養成コース

1. すべて現役の医師・大学教授・民間企業などの講師陣
2. 病院や、実際の指導現場での実習を予定
3. 成績優秀者には、派遣先をご紹介します（全員ではありません）

実益な資格が欲しい

受けるだけの養成コースではない、実際の声を形にした、これから本当に必要な資格がココにあります。

## 病院の課題

## HOSPITAL

我が国は、財政的に莫大な負債を抱えている為に、財政構造改革や医療制度改革を通じた資源の効果的、効率的利用が要求されています。財源確保の為に診療報酬のマイナス改定が進められており、この影響で病院経営が悪化し倒産する病院や赤字病院が相次いでいます。そのような状態の中では、現状を維持することが先決の問題となり、患者さん向けのサービスの向上が難しい状況にあります。GWS Jはこの問題に対して、運動療法の分野でのアウトソーシング先、すなわち医療機能ユニットとして、病院と連携を取っていく事により、この問題解決の一助となることを目指します。



## GWS J サポート

## SUPPORT

GWS Jは、大きく分けて3つの部門があります。まず一つ目は、人材育成事業です。ここでは新しい優秀な指導者を輩出する為に、カリキュラムの作成や改正、医療機関・教育機関との提携・新しいトレーニングの開発、指導などを行います。次に営業・マーケティング部門です。この部門では、販売促進や広報活動、市場調査を始め、指導者が開業する時に必要なサポートを行います。最後は、これからこの機能回復運動プログラムを価値ある資格に定着させる為に、機能回復運動協会（仮称）の設立の為に準備委員会を設置いたします。この協会を設置する事で、最終的には機能回復プログラムでデファクトスタンダードとなり、国の認定する資格を目指し、価値を高めていきたいと考えております。

# 医療現場は、あなたを必要としています。

今すぐお申込みください！

# GET WELL SUPPORTERS JAPAN



菅本 恵宏  
国立循環器病センター  
動脈硬化・代謝内科 臨床研究センター  
臨床研究開発部 医長 医学博士



梅林 薫  
大阪体育大学 教授  
(財)日本テニス協会 強化本部テクニカルサイエンスサポート委員会 (財)日本オリンピック委員会 強化スタッフ (スポーツ医科学)



とかしき なおみ  
薬剤師  
昭和大学薬学部卒業 (社)大阪府薬剤師会参与  
大阪府知的障害者陸上競技会会長  
NPO法人『循環型社会研究会』理事



亀崎 一郎  
国立循環器病センター 運動実践指導者  
高校卒業後、アメリカの予防医学の為にフィットネスのあり方に感銘を受け、1988年渡米。独学で指導法を確立する。日々のスキルアップの為に参加した世界エアロビクスコンテストで3位に入賞する。現在は21年の運動指導経験を活かし、国立循環器病センター心臓リハビリ科にて、運動療法士として在籍する。



岩田 昌美  
(社)日本ヨーガ療法学会認定ヨーガ療法士  
日本統合医療学会会員、国立循環器病センターを始め、大阪府下産婦人科、デイケアセンターにてヨーガ療法や運動療法、高齢者体操を指導中。指導歴24年



酒井 智行  
東京海上日動火災保険株式会社 大阪北店課長代理  
実践の範囲、過失に適切な保険の種類、訴訟に関わる問題の講義を担当します。



國枝 加替  
管理栄養士・栄養コーディネーター  
1999年同志社女子大学 生活科学部食物栄養学科  
管理栄養士専攻 卒業。自身が17歳で、2型糖尿病と診断されたことを機に管理栄養士の道へ。京都大学医学部附属病院 病態栄養部での病棟専任栄養士、外食産業でのメニュー開発のほか、執筆や講話も行う。現在は、生命保険代理店・株式会社ドリームシンパシー所属。